



File 12

http://www.mizuhoikuseikai.or.jp

## 有限会社サザンクロス

- 所在地：豊後高田市呉崎760-6
- TEL：0978-24-3200
- 事業内容：農産品加工、清掃業、製品組み立ての下請け
- 雇用人数：健常者1人 障がい者11人
- 沿革：1983年 宇佐風土記の丘作業所開設
- 1988年 有限会社瑞穂設立
- 1990年 上記の作業所と会社が合併して有限会社サザンクロス設立

## 通所授産施設が発展し、有限会社を設立 得意分野を生かして伸び伸びと働く

### 現在の障がい者の雇用状況等について

#### ■ 雇用している障がい者の状況

知的障がい者11人。30歳代から50歳代までおり、うち重度知的障がい者は10人。同社の関連する社会福祉法人が運営しているグループホームが同じ敷地内にあり、同社社員の10人が在住、そのほかの1人は自宅から通っている。

#### ■ どんな仕事をしているか

地域の特産品の白ネギの収穫、出荷作業。農繁期に合わせて農家から業務委託を受けており、収穫作業や、工場内に運んでからの皮むき、選別、箱詰め、出荷などの作業をしている。

清掃業では宇佐市の大分県立歴史博物館(元県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館)内の公園の除草、清掃作業を受注。公園内にあるショウブ園の苗の育成、手入れもしている。

また近くの用具メーカーの下請けとして、電気工事用器具の組み立てや点検作業を行っている。



白ネギの皮むき作業

### 障がい者を雇用して良かった点

会社の設立目的が通所授産施設を発展させたものなので、一般の会社が障がい者を雇用する状況とは違っているが、障がい者が会社で働いているという誇りを持つことができ、賃金も得られる。

また地元の農家が高齢化し、農繁期の人手不足が深刻だったが、補うことができた。

### コメント

#### ■ 障がい者雇用担当者

指導員 香丸 俊仁さん



知的障がい者を雇用するときに、数字や文字の理解力に乏しいことがネックになると思いますが、興味のある分野ならば、健常者以上の能力を発揮することがあります。

車や機械が好きなる障がい者は、説明書は読めませんが、操作を教えると草刈機を上手に使いこなせるようになりました。

長所を伸ばせば、十分に働けると思っています。

#### ■ 現職障がい者

立花 浩二さん



組み立ての仕事をしています。忙しい時は大変です。会社ではみんなと仲良く過ごしてしています。

平山 岳志さん



白ネギの皮むきの仕事しています。寒い時もありますが、頑張っています。草刈りも得意なので、時々博物館の作業を手伝います。



### プロセス

STEP 1

#### ■ 雇用スタート時の状況・雇用を始めようと思ったきっかけ

義務教育を卒業後、一般企業などに就職しても、仕事が続けることが難しく、離職する障がい者が多かったため、1986年通所授産施設「高田みづほ園」を設立。

通所する障がい者の中でも比較的仕事ができる人を受け入れる場所として有限会社を設立し、本格的に仕事に取り組むようになった。



白ネギの出荷選別作業

STEP 2

#### ■ どんな問題点にぶつかったか

公園の除草の仕事を受注したが、ノウハウもなく、また指導員も作業に不慣れだったため、草むしり程度の内容になってしまった。

重度の知的障がい者は仕事が難しいと認識されてしまいがちだった。



ショウブ園の手入れ作業

STEP 3

#### ■ それに対してどんな改善策を取り、工夫をしてきたか

除草作業については、農作業に詳しい人の指導を受けたり、機械を導入して使い方を障がい者らに教えるなど、1年間かけて仕事の内容を充実させていった。



電気工事器具を袋に入れる作業

現在では博物館内にあるショウブ園も手入れが行き届くようになり、草刈りの技術も向上。博物館に勤務する人から「いつも頑張っているね」と声を掛けられ、信頼してもらえるようになった。

ネギの出荷作業では、重度の障がい者が単純作業の収穫などを担当。

応用が必要な選別や箱詰めはパートの健常者がフォローして、障がい者とともに作業している。

### 社内環境

地域の人を招待し、無料でバーベキュー料理を振る舞う「ふれあいボンフェスト」を毎年開催。

このほかにも地元のロータリークラブと一緒に田植えをしたり、豊後高田市内の祭りに出店するなど、地域との交流を深めている。



地域の人を招いて交流